

## 学習・言語心理学

[講義] 第2学年～第3学年 後期 選択 2単位

《担当者名》齊藤 恵一 ( 心理科学部 ksaito@hoku-iryo-u.ac.jp )

### 【概要】

言語は人間が持つ多くの心的機能の中で最も重要なものの一つである。どんなに単純な言語表現であっても、それを理解し産出するためには多くの知識や処理が動員される。この講義では人間の言語情報処理に関わる認知プロセスについて学ぶ。

### 【学修目標】

本講義での学習目標は次の5点である。

人間が言葉を発し理解するという現象を心における情報処理過程としてとらえる。

人間の言語情報処理には、感覚・知覚のような低次の心的過程から、記憶や推論のような高次の心的過程まで、多くの処理プロセスが関与していることを理解する。

言語の習得における機序について説明できる。

人間の言語情報処理の理論として提唱されているモデルについて知る。

人間の言語の数理的な性質を理解する。

学生は、上記の目標に対して次の点を目指して学習を進めること。

認知心理学における言語の研究の代表的な知見を述べるができる。

音声の知覚やパターン認知、作動記憶、文法や語彙などの言語的知識、それに意味記憶などの一般的・世界に関する知識について説明することができる。

語彙の習得と文法の形成を区別して考え、また、語用論的処理についても言語発達の観点から理解する。

言語処理モデルの特徴を理解する。

文法の階層について説明できる。

### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

### 【ディプロマポリシー（学位授与方針）との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。